

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和2年11月26日（木）13時30分～14時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
知見主任安全審査官、横山係長、高木技術参与  
原子力規制部 地震・津波審査部門  
江寄企画調査官、岸野主任安全審査官  
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 5名

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、解放基盤面からの地盤—大型廃棄物保管庫建屋連成地震応答解析（以下「建屋床応答スペクトル」という。）について、地盤改良後の剛性を使用していないことを規制庁から指摘を受け、解析に使用する地盤定数を修正し再解析を行うことについて以下の説明があった。
  - 再解析について、資料に示す大型廃棄物保管庫が設置される地盤改良後の地盤モデルを用いること。
  - 再解析及びその結果を用いた設備の評価結果の提示については、来年2月以降の見込みであること。
  - また、今後の当該案件の建設作業スケジュール等については現在、東京電力内で検討中である旨、口頭説明があった。
- 原子力規制庁は、東京電力に対して、地盤定数を修正して再解析を行うことについて以下の指摘を行った。
  - 再解析後におけるバラツキの考慮については、泥岩層だけではなく改良地盤でのばらつき（ $\pm\sigma$ ）についても検討すること。
  - 再解析を含む今後の作業スケジュールについて説明すること。
  - 地盤モデルにおける各土層境界の標高については、施設周辺の地質調査データ等に基づき妥当性を説明すること。
  - 今回の問題は不適合として対応するとともに、原因及び対策について説明すること。

#### 6. その他

資料：大型廃棄物保管庫の揚重設備及び架台設置に係る実施計画の変更について

以上